

皇帝ダリアの挿し木に挑戦の経過（その1）

2016-3-20

まずは情報収集。インターネットで調べた結果、発芽の確立が高いのは水苔に巻いて保存する方法と土の中に埋めおく方法が紹介されていました。

開花に向けて、この二通りで挑戦だ

●水苔編

材料の確保は自宅の皇帝ダリアを切断



節を一つ残し下を長く切断、幹からは水が溢れるように出てきた

後から分かったのだが節の葉が出ていた部分あたりから新芽が出るので、節は傷をつけないようにしましょう。

水苔に巻いてビニールポットに入れ、暖かい部屋で保管（12月10日）

水苔が乾かないようにたまに水やりをします（2週間に一度？位かな）
温度が10度C以下にならないように、多少のヒーターを入れた。



そして約一ヶ月後（2016年1月15日）

いよいよ待望の芽が出てきている、意外に早く出てきた、春先の3月や4月かと思っていたら真冬に出てきた、新芽を守るために温度を10度以下にしないように注意、注意。



さらに約 10 日が過ぎ、新芽は少し成長。



そして現在はこんなに成長しました、3月19日現在です。

挿し木をしてから約3ヶ月

芽が出ないのは最初から茶色く枯れかけたような木です。



根はどうなっているのか知りたくなり、水苔を剥がして覗いて見た



芽の小さい物はまだ根らしき物は確認出来ない



こちらの大きく芽が伸びた苗からは根が伸びています、幹の途中から出ていました。



ポットの底にも根が回っているのが確認出来ます

●土に埋めて保管編

昨年の暮れに畑仲間の方が育てている皇帝ダリアを許可を得て伐採苗木としてカットし土に埋めて保管しました。



こんな形にノコギリでカット、植える時に上下が分かるように下に下になる方を長くしてカット



土の深さはスコップ一つ分 (約 50 cm) 下に藁より腐りにくい枯れた茅を敷きました



上に茅を被せ、土を被せ、更にビニールで覆っています

4月になったら掘り起こし、結果を報告します
お宝が出るか、ゴミが出るか？ ちょっと心配